



平成23年1月21日

報道機関各位

熊本大学

熊本大学大学院先導機構セミナー・第155回発生研セミナー

“ Getting in and out of Mitosis ” を開催します。

この度、2001年ノーベル医学生理学賞を受賞されたイギリス在住の Timothy R.Hunt 博士をお招きして、熊本大学大学院先導機構及び発生医学研究所主催のセミナーを下記の通り開催しますので、当日の取材方、よろしく願いいたします。(インタビュー無し)

記

- 【日時】平成23年2月7日(月)17:00~18:00
- 【場所】熊本大学医学部附属病院地区 医学教育図書棟 第1講義室  
(熊本市本荘1丁目1番1号)
- 【対象】熊本大学の学生及び教職員(会場の都合上、一般市民の方は対象外となっております。)
- 【テーマ】“ Getting in and out of Mitosis ”  
(注)講演は英語で行われます。通訳はありません。
- 【講師】Timothy R.Hunt 博士

Hunt 博士(英国 Cancer Research UK)は1980年代、ウニ卵の受精時における転写制御の研究中に細胞分裂と同調して増減するタンパク質を発見した。このタンパク質が細胞分裂のサイクル(Cycle)に重要であったことから、Cyclin と命名。その後、Cyclin と Cyclin によって活性化されるタンパク質リン酸化酵素(CDK)が細胞分裂に中心的な役割を担っていることが次々に明らかとなり、2001年にノーベル医学生理学賞を L. Hartwell、P. Nurse 両博士と共に受賞した。残念ながら博士自身の研究室は昨年未だに閉鎖(定年制のため)したものの、博士は「Molecular Biology of the Cell: The Problems Book」の著者の一人であること、また現在設立準備が進んでいる沖縄科学技術大学院大学の運営委員も担う等、基礎科学の進展に今後も非常に貢献を続けていくだろう。

【お問い合わせ先】

熊本大学マーケティング推進部  
研究推進ユニット 上田  
TEL: 096-342-3208

熊本大学大学院先導機構特別セミナー・第 155 回発生研セミナー

# Timothy R. Hunt 博士 講演会

(2001年ノーベル医学生理学賞受賞)

## "Getting in and out of Mitosis"

※講演は英語で行われます。(通訳はありません。)

日時：2011年2月7日(月) 17:00~18:00

場所：熊本大学医学部附属病院地区

医学教育図書棟第1講義室

※なお、会場の定員は200名となっております。立ち見となる可能性もありますので、お早めに会場にお越し下さい。



Hunt 博士 (英国 Cancer Research UK) は1980年代、ウニ卵の受精時における転写制御の研究中に細胞分裂と同調して増減するタンパク質を発見した。このタンパク質が細胞分裂のサイクル(Cycle)に重要であったことから、Cyclin と命名。その後、Cyclin と Cyclin によって活性化されるタンパク質リン酸化酵素(CDK)が細胞分裂に中心的な役割を担っていることが次々に明らかとなり、2001年にノーベル医学生理学賞をL. Hartwell、P. Nurse 両博士と共に受賞した。残念ながら博士自身の研究室は昨年末に閉鎖(定年制のため)したものの、博士は「Molecular Biology of the Cell: The Problems Book」の著者の一人であること、また現在設立準備が進んでいる沖縄科学技術大学院大学の運営委員も担う等、基礎科学の進展に今後も非常に貢献を続けていくだろう。

### 【お問い合わせ先】

熊本大学 マーケティング推進部 研究推進ユニット (研究戦略担当)

TEL: 096-342-3208 (ダイヤルイン)

MAIL: k=senryaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

主催：熊本大学大学院先導機構

熊本大学発生医学研究所

### 【講演内容についてのお問い合わせ】

熊本大学大学院先導機構 持田研究室(内線 6819)

